

学校教育目標

志気高き浜中生の育成

～自己を高め 共に学ぶ～

生徒数:330
学級数:13(うち特別支援学級数2)
教職員数:30

【小浜市学校教育方針】

郷土を愛し、よりよい小浜と日本の未来を創造しようとする児童生徒の育成をめざす。

- ふるさとを愛し、誇りに思う心を育む
- よりよい人生を生き、よりよい社会を創っていく資質・能力を育む
- 健康・安全で活力ある生活習慣を育む
- 食への理解を深め、望ましい商習慣を育む
- 全ての児童生徒と養殖員が、生き生きと学び働くことのできる学校づくりを進める

【めざす教師の姿】

『生徒ファースト』で生徒の学びに寄り添い、支援する教師
「生徒のために」から「生徒の立場で」へ互いに学び合い、学び続ける教師

【めざす生徒の姿】

じりっ 自律・自立した生徒 ・ 仲間と共に顔晴れる生徒 がんば
浜中の新たな歴史を創造する生徒

【めざす学校の姿】

生徒にとって愛着があり誇れる学校
教職員にとって働きがいがあり自慢できる学校
保護者・地域にとって信頼でき共に歩める学校

育てたい資質・能力

【浜中エージェンシー^{*}】 主体性・協働性・創造性

重点課題と取組の具体

豊かな人間性と 健やかな身体の育成

◆個性を伸ばし集団や社会で 自己実現できる人間性の醸成

- ① 縦(色別)と横(学年)の主体的活動の支援の工夫
- ② 人権尊重の実践的態度を育成する人権教育の組織的実践
- ③ 各自の「浜中ABC」実践

◆自他の心身の健康づくりと 安全・安心な教育環境づくり

- ④ 食と健康に対する意識、望ましい生活習慣の支援、指導

楽しむ学びの創造

最重要課題

◆「学びのサイクル」の確立

- ① 学習計画ノート「はまなびノート」の活用と支援
- ② 「浜中型3S学習」の創造と「SAT(Self-Assessment-Test)」の連動、一体化
- ③ 「放課後スタディークラブ」の活用

◆小中接続、教科横断的視点での授業づくりと

各教科固有の資質・能力の向上

- ④ 「(仮)小浜小・中版 そだちのコンパス(羅針盤)」を用いたカリキュラム・マネジメント表の作成と活用
- ⑤ 教師間の互見授業と授業検討会の充実

研究主題

すべての生徒が学ぶことを楽しむ授業づくり ～主体性・協働性・創造性の育成を通して～

信頼される学校づくり

◆地域の教育資源(ヒト・コト・モノ)

活用の推進

- ① 地域総合学習の展開
- ◆「学びの接続」を意識した小中連携
- ② 中学校下の小中合同研修会の開催
- ③ 学びへの向かい方、スマートルール等の検討を小中で共有

◆家庭・地域との連携

- ④ 学校公開、各種通信、HP・ブログ等で生徒の活躍、学校の様子を保護者、地域へ発信
- ⑤ 家庭地域学校協議会、PTAとの連携、充実

評価指標と目標値

- ・色別、学年主催の活動に積極的に取り組んだと答える生徒80%以上【満】
- ・人権を大切にされた言動がとれていると答える生徒80%【満】
- ・「浜中ABC」を実践する生徒80%【取】
- ・食と健康面での自己管理を意図した指導をした教員100%【取】

- ・タイムマネジメント力や自己調整力を高める支援に取り組んだ教員100%【取】
- ・学び直し(放課後スタディークラブ等)への生徒の満足度 80%【満】

- ・教員1人1回/年以上の授業検討会の開催【取】
- ・(仮)育ちのコンパス表を用いたカリキュラムマネジメント表の修正および完成【成】

- ・地域総合学習のカリキュラムマネジメント表の修正および完成【成】
- ・小中合同研修会年間5回開催【取】
- ・学校公開週間年2回、協議会3回/年開催
ブログ発信160回/年 以上【取】
- ・保護者の学校信頼度80%【満】

業務改善のための取組 ◆放課後活動、生徒の登・下校時刻の見直しで校務優先日を設定 ◆部会時間の確保と効率化 ◆年次休暇11日以上取得

^{*}エージェンシー...適切な和訳はなく、「よりよい未来の創造に向けた変革を起こす力①新たな価値を創造する力②対立やジレンマに折り合いをつける力③責任ある行動を取る力(OECD)」「自ら考え、主体的に行動して、責任をもって社会変革を実現していく姿勢・意欲(文部科学省)」という概念をさす